

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和7年度】

2026年 3月 13日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 101-0047

所在地 千代田区内神田2-4-4 藤和内神田ビル3階

評価機関名 株式会社 評価基準研究所

認証評価機関番号

機構 12 - 218

電話番号 03-3251-4150

代表者氏名 代表取締役 谷口仁宏

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	須永 十三男	経営	H0201052
	②	齋藤 澄子	福祉	H1801001
	③	高山 修	福祉	H1101032
	④	谷口 仁宏	福祉、経営	H0305043
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】			
評価対象事業所名称	社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念ホーム		指定番号	1370700252
事業所連絡先	〒	130-0015		
	所在地	東京都墨田区横網2丁目1番11号		
	TEL	03-3625-6391		
事業所代表者氏名	施設長 吉原成典			
契約日	2025年 8月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2025年 10月 2日			
利用者調査結果報告日	2026年 1月 16日			
自己評価の調査票配付日	2025年 9月 11日			
自己評価結果報告日	2026年 1月 16日			
訪問調査日	2026年 1月 26日			
評価合議日	2026年 2月 16日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は、評価者2名による1対1の聞き取り方式で実施した。職員調査はWEB方式を基本とし、希望者には紙による回答も可能とした。職員事業評価開始時には、調査の趣旨や方法、個別ID等を封筒で配布し、分析シートおよび記入方法資料を用いて周知徹底を図った。訪問調査など評価の実施にあたっては、事業所の特長や改善の状況にも着目した。家族を対象とする利用者調査は、第三者評価の必須項目ではなく評価結果には直接反映されないが、事業所が自らの発展および保護者理解の促進を目的として実施し、気づき・発展に務めている。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

事業者代表者氏名

〒130-8587

2026年 3月 13日
東京都墨田区横網2丁目1番11号

社会福祉法人同愛記念病院財団

同愛記念ホーム

施設長 吉原成典



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利用者と一緒に生活の場を築きます。 2) その人らしさを大切に個別ケアを実践します。 3) 地域社会から信頼される施設を目指します。 4) 上質な介護と快適な生活を提供すること。（同愛記念ホーム『12の宣言』と『5つの約束事』） 5) 高齢者虐待防止、個人情報保護のための措置を講ずると共に、拘束、苦情、事故等に適正に対処すること。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人間性が豊かであること ②誠実な姿勢で仕事に取り組める人 ③自分の役割を把握し、実行できる人 ④他職種と連携しつつ、自分の専門性を認識して自発的に行動でき、さらに、向上心をもち続けられる人 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人の一員としての使命感 ・公的サービスを、「実施する側」にいるということ ・我々の仕事が、地域の中の社会資源の一部であることの自覚をもつこと